

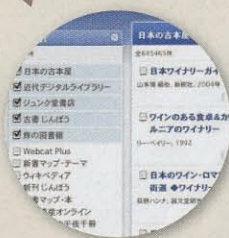
ネットを使って紙の本と出会う



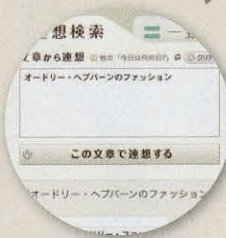
想 IMAGINE BOOK SEARCH
「ジュンク堂書店」「松岡正剛の千夜千冊」「新書マップ」など18件のデータベースから検索できる。



連想検索
手持ちの好きな本のタイトルを入れて関連本を調べるのにも便利。検索結果は書棚に保存できる。



カーリル
全国5,200以上の図書館・図書室の書籍と貸し出し状況がわかる。図書館員さんらによるレビューも豊富。



電子書籍によって紙の本がなくなってしまう——そんな心配をしている人もいるかもしれないが、さすがにそれはまだまだ杞憂というもの。インターネット上の様々なサービスを使うことで、自分の探している紙の本と出会えるチャンスも格段に増えている。

たとえばWebcat Plusというサイトの「連想検索」というサービスをを使うと、ふと思いついた言葉や文章から、その語句に関連する書籍を紹介してもらえる。タイトルなどに含まれる語句から探す単純な検索と違って、連想によって次々新しいアイデアが思い浮かぶのと同じように、本との思わぬ出会いが果たせるのが特徴だ。もともと大学図書館の蔵書検索のために開発されたシステムだが、ネットに公開されて誰でも使えるようになった。これをカスタマイズした仕組みが渋谷のMARUZEN & ジュンク堂書店でも採用されており、店頭で求める本を探すために役立つ。

「想-IMAGINE」という連想検索を

もちいたウェブサイトも便利だ。図書館や書店、古書店、ネット上の書評サイトなど、本にかかわる多くのデータベースの内容を横断的に検索でき、ある本についての情報が多角的に示される。

本のデータベース化は、公共図書館でも進んでいる。最寄りの図書館にどんな本が収蔵され、現在どの本が貸し出し可能かが一目で表示される、「カーリル」が話題を呼んでいる。日本最大の図書館検索サイトを謳うこのサービスでは、本の貸し出し情報だけでなく、アマゾンの書評やツイッターなどのネット上の口コミとも連動している。

電子書籍と紙の本を対立的にとらえる議論もあるが、どちらも背後には巨大なデータベースがあるという点は同じ。インターネット時代の読書は、データベース化された膨大な本のなかから、自分の求める一冊を探していくのがコツだ。それは電子書籍かもしれないし、図書館や古書店にある、とても古い紙の本なのかもしれない。

特集「新たな自分に出会えるブックナビ」をWEBにて公開中!

気鋭のブックコメンター市川真人さんによるおすすめブック紹介。UC・セゾンカード会員様限定でブックエンドが当たるチャンスも!

詳しくは ▶ 注目の特集記事